オットーボック装具　取扱説明書 ②（製品篇）
28U23 ウォークオン トリマブル / 28U11 ウォークオン

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書①（基本篇）と取扱説明書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。
また取扱説明書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】
短下肢装具『28U23 ウォークオン トリマブル』、『28U11 ウォークオン』は、足関節の歩行補助に使用する装具です。歩行時の遊脚期において足先を持ち上げ、足関節の底屈運動をコントロールします。装着者のより自然な歩行パターンを再現するために足関節のレバーアーム機能を必要とする下肢に使用します。

28U23

【特徴】
『28U23 ウォークオン トリマブル』、『28U11 ウォークオン』は弾性と固定力のある素材を一体成型することで、膝の動きを妨げることなく、安定した歩行と自然な歩行パターンを提供します。遊脚期にはつま先および足部を保持し、つまずきを防ぎます。また、エネルギーの蓄積により、立脚相後期には足部の蹴り返しを促進します。

⚠ 注意	● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。
⚠ 注意	● 本製品は動的短下肢装具ですので、拘縮予防など他の用途には使用できません。 ● ウォークオンをスポーツには使用しないでください。 ● 本製品やインソール、安定した靴などを使用しても足部の変形に対処できない場合には、他の下肢装具の使用が推奨されます。
⚠ 注意	●**絶対的禁忌**：以下の症状のある方は使用しないでください。 ・中程度から重度の下肢の痙攣　・下腿潰瘍 ・中程度から重度の浮腫　・中程度から重度の足変形 ●**相対的禁忌**：上記以外の一般的な禁忌事項については取扱説明書①（基本篇）を参照してください。

【サイズの選び方】
以下を参照し、日常使用している靴に基づき、左右、S ～ XL の中から、適切なサイズを選択してください。　（一箱 :1 個入り）

発注品番		左右	サイズ	適用範囲	
ウォークオン トリマブル	ウォークオン			靴のサイズ（cm）	装具高さ（cm）
28U23=L36-39-SHORT	-	左	S-SHORT	2.5～24.0	32.0
28U23=R36-39-SHORT	-	右			
28U23=L36-39	28U11=L36-39	左	S	22.5～24.0	35.0
28U23=R36-39	28U11=R36-39	右			
28U23=L39-42	28U11=L39-42	左	M	24.0～26.5	36.0
28U23=R39-42	28U11=R39-42	右			
28U23=L42-45	28U11=L42-45	左	L	26.5～29.5	37.5
28U23=R42-45	28U11=R42-45	右			
28U23=L45-48	28U11=L45-48	左	XL	29.5～31.0	39.0
28U23=R45-48	28U11=R45-48	右			

・計測値が2サイズにまたがる場合は、装具の高さを考慮してお選びください。
・28U11 ウォークオン 、およびXLサイズはドイツからの取寄せとなります。

【調整方法と装着手順】

⚠ 注意	● 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。

装着前に取扱説明書①基本篇の【使用上の注意―必ずお読みください―】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。（写真は右足での手順を示しています。）

① 靴の選択：本製品のベストな効果を得るためには、安定性があり、しっかりしたヒールカウンターのあるウォーキングシューズかスポーツシューズをご使用ください。ヒールの高さは、10mm(± 5mm) にしてください。

図② -1

図② - 2

② 適切なサイズを選び、靴に入るサイズにカットします。
脱着可能なインソール（中敷）を使用している場合は、そのインソールを足底の上に置くか、 装着者の足を直接足底の上に置き、周囲にトリミングラインを描いてください (図② -1)。
28U23 ウォークオン トリマブルの場合は、足底に引いたトリミングラインに合わせて、ハサミなどでカットします（図② -2)。
28U11 ウォークオン の場合は、研削盤を使用して削ります。

図③

③ 足底の幅をカットしすぎると、足と装具との空間が少なくなり、後方支柱の連結部分に当たって内踝を含む足関節の内側周辺が圧迫される場合があります (図③)。特に足底内側部分は必要以上に削らないでください。 足底の長さを調整する際には後部を切ってください。装着時に後方支柱部分が内踝より後ろになるため足首と踝への圧迫を防ぎます
足底のカーボン部分を削る必要がある場合は、必要に応じサンドペーパーを使用し、加工部分の鋭い縁を滑らかにしてください。

図④

④ 半月シェルは必要に応じ削って調節します。カフバンドを取付け、面ファスナーのストラップを適切な長さに切ってください (図④)。
カフバンドをふくらはぎ周囲に巻き、しっかりと閉じることができるよう、面ファナーのストラップが面ファスナーのフック部分より 2cm 以上長くならないようにしてください。

⑤ 装着の際は、イスなどに座って行なってください。
靴ヒモを緩め（面ファスナー仕様の場合は、面ファスナーを外し)、あらかじめ装具を靴に挿入します。
その後、 装具前方より足を入れてください。そしてカフバンドを装具の下腿内側にある面ファスナー部分に固定します。
面ファスナーは内側にあるため、片手で楽に装着することが可能です。

⚠ 注意	● 義肢装具士をはじめとする医療従事者は、本製品が正しい位置で装着できるよう調整されていることを必ず確認した上で、使用者に手渡してください。 ● 本製品は熱成型加工はできません。また、繊維構成を阻害したり強度劣化を防ぐため、本体基本構成部分に穿孔加工などは行なわないでください。 ● 本製品を装着中に自動車を運転する場合、装具の装着によりアクセルやブレーキ操作などが妨げられるおそれがありますのでご注意ください。 ● 1m 以上の高いところからジャンプした場合、装具に過度の負荷がかかり、破損の原因となりますのでご注意ください。

【お手入れ方法と注意事項】

⚠ 注意	● お手入れをされる場合には、取扱説明書 ①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

・布製部品 : 必要に応じ週 2 回ほど、40℃以下のぬるま湯と中性洗剤で手洗いすることを推奨します。
・その他の部品 : 必要に応じて湿らせた布で拭いてください。
・面ファスナーストラップを紛失したり、機能損失、磨耗などした場合、医師または義肢装具士を通し、追加のカフバンドを入手することが可能です (製品番号 : 623Z39、左または右)。

【品質表示】
本体 : 炭素繊維強化プラスチック、
カフバンド : 温度調整機能素材 (アウトラスト)、マイクロ面ファスナー、ソフト面ファスナーテープ

お問合わせ先

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

輸入販売元
オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.co.jp
〒108-0023 東京都港区芝浦4-4-44 横河ビル8F TEL:03-3798-2111(代表) FAX:03-3798-2112

O-IFU-T-28U23-28U11-201201